

主任技術者の兼務承認申請書

令和 年 月 日

宝達志水町長 様

所 在 地
商号又は名称
代 表 者



下記対象工事について、他の工事に係る業務に従事する（予定を含む。）者を主任技術者として配置したいため、下記のとおり申請します。

記

技 術 者 氏 名		(フリガナ)	
対象工事	工 事 名		
	工 事 場 所		
	工 事 着 手 予 定 日		
他工事従事状況	工 事 名		
	工 事 場 所		
	発 注 機 関 名		
	請 負 契 約 金 額		
	工 期		
	工 事 概 要		
	兼 務 申 請 理 由	(理由番号)	(具体的な内容)
	対 象 工 事 と の 距 離		
	C O R I N S 登 録 の 有 無		
	従 事 役 職	若手技術者 ・ 主任技術者 ・ 現場代理人 ・ 指導技術者	
(該当するものに○を付けること)			

(他工事発注機関の承認欄 ※必要な場合のみ)

上記内容について承認します。



令和 年 月 日

(添付書類)

1. 申請にあたっては、当該申請書に、兼務させようとする工事の施工場所及び工事概要がわかる書面（位置図、工事設計書等）を添付すること
2. 他工事発注者に承認を受ける際には、他工事発注者に対し、対象工事の施工場所及び工事概要がわかる書面を提示すること

(記載要領)

1. 「対象工事」は、今回、主任技術者を兼務させようとする工事について記載すること
2. 「工事着手予定日」は、契約書上の着工日ではなく、実際の工事のための準備工事（現場事務所等の建設又は測量を開始することをいう。）の初日をいう。
3. 「他工事従事状況」は、他の工事に係る業務の従事状況（予定を含む。）の概要を記載すること
※監理技術者として従事している場合、兼務は認めない。
4. 「兼務申請理由」は、今回の申請理由について次のいずれか該当するものの番号とその具体的な内容を記載すること

①：工作物に一体性若しくは連続性が認められる工事であるため

②：施工にあたり相互に調整を要する工事であるため

5. 「対象工事との距離」は、対象工事との直線距離を記載すること
6. 「従事役職」は、該当するものに「○」を付けること

主任技術者の兼務をさせようとする場合について、対象工事と他工事の両工事の現場代理人も兼務させようとする場合は、両工事の発注機関から主任技術者の兼務に関する承認を得ることで足りるものとし、現場代理人の兼務に関する申請を別途行う必要はない。

7. 「他工事発注機関の承認欄」は、他工事の発注者に内容の確認を依頼し、発注者の記名、押印を行うこと。（例：県発注工事で県央土木総合事務所所管のものは県央土木総合事務所長の記名押印）

ただし、対象工事と他工事の発注者が同一の場合、他工事が主任技術者を専任で配置する必要のない工事である場合又は他工事について指導技術者としてのみ配置する場合は、事前に他工事発注機関の承認を得る必要はない。

(留意事項)

1. 主任技術者の兼務が認められるのは、以下の全てに該当し、発注者が工事の品質及び安全性が確保されると判断した場合に限る。また、対象工事の主任技術者と他工事の指導技術者とを兼務する場合についても、主任技術者同士の兼務の場合に準じて判断する。
 - (1) 工事の対象となる工作物に一体性若しくは連続性が認められる工事又は施工にあたり相互に調整を要する工事で、かつ、工事現場の相互の間隔が10km程度の近接した場所にあること
 - (2) 兼務する工事が原則2件程度であること
2. 若手技術者育成方式を実施する一般競争入札において、他の工事の主任技術者に従事する者を指導技術者として配置しようとする場合は、主任技術者として従事する工事の発注機関に対し、兼務の申請を行うものとし、入札参加資格確認申請の際、同発注機関の受付印のある申請書の写しを添付するものとする。
3. 若手技術者として従事している者については、兼務を認めない。